

主催 NPO 法人
障がい児・者の学びを保障する会
HP:www.npo-manabinokai.com

16:30~18:00「音でコミュニケーション」 片岡 祐介 (かたおか・ゆうすけ / 音楽家)

ことばの代わりに音を通して人とコミュニケーションをとったり、
意外に心地いいひびきやハーモニーを発見したり、
からだや楽器やいろいろな物で音を出して、
わいわいしたり、びっくりしたり、を体験します。

片岡 祐介 / 音楽家

子どもの頃から作曲や即興演奏に興味を持ち、木琴やピアノの演奏を自己流で始め、東京音楽大学で打楽器を学ぶ。映画やコマーシャル音楽での経験を積んだ後、97年から2000年まで、岐阜県音楽療法研究所にて研究員として勤務し、障害児者との演奏共演を多数行う。マリバのソロコンサートなど、ジャンルに拘らない演奏活動の他、音楽療法士のための実践的な講座や、幼児から高齢者まで幅広い人を対象に即興演奏のワークショップも行っている。おとぼけキャラで、おどり好き。

会話する音

みんなのワークショップ

in 高松マルシェ (会場:みやもとファーム)

同日16:00~19:00 / 野菜や豆腐等の販売のほか、
ジンギスカンとビールも楽しめます。

2019年

7月7日 (日)

13:30 - 18:00

申込み不要

※ダンスのみ先着15名

おしゃべりなからだ

13:30~15:00「からだでおしゃべり」

砂連尾 理 (じゃれお・おさむ / ダンサー)

ダンサーのじゃれおさんと一緒にからだを動かします。
私たちは意外とからだを使ってコミュニケーションしていたりしますが、
日頃ほとんど意識していません。ここでは、楽しくからだを動かしながら、
普段とはちょっとちがったやりとりを試みます。

砂連尾 理 / 振付家、ダンサー

91年、寺田みさことダンスユニットを結成。02年、「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」(グランプリ)、「オーディエンス賞」をW受賞。近年はソロ活動を中心に、ドイツの障がい者劇団ティクバとの「Thikwa+Junkan Project」、京都・舞鶴の高齢者との「とつとつダンス」、宮城・閉上(ゆりあげ)の避難所生活者への取材が契機となった「猿とモルターレ」等を発表。

著書に「老人ホームで生まれた「とつとつダンス」—ダンスのような、介護のような—」(晶文社)。立教大学 現代心理学部・映像身体学科 特任教授

会場：東京都練馬区高松2-15-18
都営大江戸線練馬春日町駅A3出口より徒歩10分
問い合わせ先：080-3529-6343 (大森)

会場QRコード



※このワークショップは、文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」委託事業として実施しております。